



～2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して～
「中川町ゼロカーボンシティ宣言」

近年、地球温暖化に起因する気候変動によって、台風、集中豪雨や猛暑などの自然災害が多発化・激甚化しています。

こうした気候変動は私たちの日々の生活のみならず、世界各地で自然環境や生態系への悪影響を及ぼしており、地球規模における対策が喫緊の課題となっております。

2015年12月に採択されたパリ協定では、「平均気温上昇を産業革命前に比べて2℃より十分下回るよう抑えることとともに、1.5℃までに抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。

また、2018年に公表された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書では、気温上昇を1.5℃に抑えるためには、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

我が国も、2020年10月に「2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにする、すなわちカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。

こうした国内外の動向を踏まえ、地球温暖化の課題に対し、中川町としても、近隣市町村や北海道と連携協力しながら、省エネルギーの実践、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入、豊富な森林資源の適切な管理による二酸化炭素の吸収源対策など、積極的な対策を行っていく必要があります。

私たち中川町は、北海道そして地球全体の明るい未来を切り拓くため、自然と調和した、環境にやさしく快適で安全安心なまちづくりに向け、町民や事業者の皆様と一体となり、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロの実現を目指すことをここに宣言します。

令和4（2022）年4月1日

中川町長